

鋼船規則検査要領

N 編

液化ガスばら積船

鋼船規則検査要領 N 編

2022 年 第 2 回 一部改正

2022 年 12 月 27 日 達 第 59 号

2022 年 7 月 27 日 技術委員会 審議

ClassNK
一般財団法人 日本海事協会

2022 年 12 月 27 日 達 第 59 号
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

N 編 液化ガスばら積船

N5 プロセス用圧力容器並びに液，蒸気及び圧力用管装置

N5.6 貨物移送配置

N5.6.5 貨物サンプリング連結部

-3.として次の 1 項を加える。

-1. 規則 N 編 5.6.5 の規定は，サンプリング装置を船上に備える場合にのみ適用する。イナートニング又はガスアップによる貨物タンクの雰囲気制御のために使用される連結部は，貨物サンプリング連結部とはみなさない。

-2. 規則 N 編 5.6.5-2.の適用上，サンプル採取口に設ける 2 つの弁は，500 mm 以上離して配置することを標準とする。ただし，本会が適当と認める場合にあっては，この限りではない。

-3. 採取管装置が液体貨物を移送する管に連結されている場合は，規則 N 編 5.6.5 の規定により採取口に要求される 2 つの弁の間には，規則 N 編 5.5.6 に規定される逃し弁を設置すること。ただし，採取端の配置について，2 つの弁の間に残液が滞留しないように考慮され，かつ，次に掲げる措置が講じられている場合は逃し弁の設置を省略して差し支えない。

- (1) 採取操作位置に，弁の操作を含める採取手順を示す注意銘板が掲示されていること。
- (2) 採取操作位置から 2 つの弁の開閉状態が確認できること。

N9 貨物格納設備の雰囲気制御

N9.1 貨物格納設備の雰囲気制御

N9.1.4 を次のように改める。

N9.1.4 雰囲気変化の監視

規則 N 編 9.1.4 に規定するガス採取管装置については次によること。

-1. 貨物タンク内~~の~~ガス採取端の配置は、貨物の物性、貨物タンク構造及び容量並びにガスフリー及びパージ装置の能力等により定めるものとし、必要な場合、効力試験でガス採取端の配置が適切であることを確認すること。この配置は、一般に貨物タンクの上、中、下の 3 点に設けることを標準とする。

~~-2. 採取管装置には採取側に採取端を隔離するための弁を 2 つ設けること。ただし、当該装置を液体貨物試料の採取のために使用せず、ガス状態のみの採取を行う場合は 1 つの弁として差し支えない。~~

~~-3. 採取管装置が液体貨物を移送する管に連結されており、前 2. の規定により採取端に弁を 2 つ設ける場合は、規則 N 編 5.5.6 に規定される逃し弁を設置すること。ただし、採取端の配置について、2 つの弁の間に残液が滞留しないように考慮され、かつ、次に掲げる措置が講じられている場合は逃し弁の設置を省略して差し支えない。~~

~~(1) 採取操作位置に、弁の操作を含める採取手順を示す注意銘板が掲示されていること。~~

~~(2) 採取操作位置から 2 つの弁の開閉状態が確認できること。~~

-42. 規則 N 編表 N19.1 の f 欄において、毒性ガス検知器が要求される貨物を運ぶ船舶にあっては、貨物蒸気の大気中への放出を防止するため、採取管装置はクローズドループとすること。

~~-53. 前-42. で規定されるクローズドループでは、採取側及び戻り側に弁をそれぞれ 2 つずつ設けること。~~

附 則

1. この達は、2023 年 1 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例による。
* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder.
For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前1.及び2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

1. 本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。